

本資料は米国時間2025年7月31日に米国で配信されたプレスリリースの翻訳版です。本資料に記載されている医薬品情報(本邦未承認情報を含む)は、 Bristol Myers Squibb に関連する最新情報をステークホルダーの皆様にお知らせするものであり、医薬品のプロモーションや宣伝広告を目的とするものではありません。

2025年8月26日

2025年第2四半期の業績を発表

長期的な成長戦略に沿った継続的な業務遂行を裏付ける業績

- **第2四半期の売上高は、123億ドル**
 - **成長ポートフォリオの売上高は、前年同期比18%増(為替変動の影響調整後は17%増)の66億ドル**
- **GAAP(一般会計原則)に基づく1株当たり利益は0.64ドル、非GAAPに基づく1株当たり利益は1.46ドル。** どちらのデータにも、BioNTech社との戦略的パートナーシップに関連する取得した仕掛研究開発費(IPRD)による-0.57ドルの純影響が含まれる
- **2025年売上高の見通しを約465億~475億ドルの範囲に上方修正。** BioNTech社の取得したIPRD費による1株当たり-0.57ドルの悪影響を含め、非GAAPに基づく1株当たり利益を6.35~6.65ドルの範囲に更新

[ブリストル マイヤーズ スクイブ](#) (NYSE: BMY) は本日、2025年第2四半期の業績を発表しました。

ブリストル マイヤーズ スクイブ CEO の [クリストファー・バーナー\(Ph.D.\)](#) は、次のように述べています。「私たちは、長期的な成長に向けて再構成を図り、着実に前進しています。第2四半期に、成長ポートフォリオ全体にわたって堅調な業績を達成し、コスト構造の最適化を継続し、戦略的パートナーシップにより、革新的なパイプラインを追加しました。下半期には、革新的医薬品の進展に焦点を当てるとともに、成長ポートフォリオと重要なパイプライン機会の提供に重点的に取り組み、成長路線を描いていきたいと考えています。」

第2四半期の業績

単位: 100万ドル (EPSを除く)	2025年	2024年	前年同期比	前年同期比 (為替影響を除く**)
総売上高	\$12,269	\$12,201	1%	0%
EPS: 1株当たり利益(損失)(GAAPベース*)	0.64	0.83	(22)%	該当なし
EPS: 1株当たり利益(損失)(非GAAPベース*)	1.46	2.07	(29)%	該当なし
取得した仕掛研究開発費(IPRD)とライセンス収入による 1株当たり利益(損失)に対する純影響	(0.57)	(0.04)	該当なし	該当なし

* GAAPベースおよび非GAAPベースの1株当たり利益(損失)には、取得したIPRD費とライセンス収入による純影響が含まれる。

** 「非GAAP(一般会計原則)に基づく財務情報の使用」を参照

第2四半期の業績

別途記載がない限り、すべての比較は2024年同期比です。

- 第2四半期の成長ポートフォリオの売上高は、前年同期比18%増、為替変動の影響調整後は17%増の66億ドルとなりました。売上高の成長は、主にかん免疫 (IO) ポートフォリオのブレヤンジ、レブロジル、およびカムザイオスに牽引され、引き続き堅調なCobenfyの業績を反映しています。
- 第2四半期の従来のポートフォリオの売上高は、前年同期比14%減、為替変動の影響調整後は15%減の57億ドルとなりました。エリキユースの需要が増加しましたが、エリキユース以外の従来のポートフォリオ全体にわたって当期も継続することが予想されたジェネリック医薬品の影響に加え、米国のメディケア・パートDの再設計の影響によって相殺されました。
- 第2四半期の総売上高は、前年同期比1%増、為替変動の影響調整後は前年同期並みの123億ドルとなりました。
 - 米国における第2四半期の売上高は、前年同期比3%減の85億ドルとなりました。
 - 米国外における第2四半期の売上高は、前年同期比10%増、為替変動の影響調整後は8%増の38億ドルとなりました。

第2四半期の製品売上高ハイライト^(d)

単位: 100万ドル	2025年6月30日 終了四半期			2024年6月30日 終了四半期比(%)			2024年6月30日 終了四半期比(%) 為替影響を除く**	
	米国	米国外	全世界(c)	米国	米国外	全世界(c)	米国外	全世界(c)
成長ポートフォリオ								
オブジーボ	\$ 1,506	\$ 1,053	\$ 2,560	7 %	7 %	7 %	7 %	7 %
Opdivo Qvantig	28	1	30	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
オレンシア	711	252	963	(4)%	23 %	2 %	20 %	1 %
ヤーボイ	451	277	728	12 %	22 %	16 %	21 %	15 %
レブロジル	453	114	568	30 %	51 %	34 %	46 %	33 %
Opdualag	252	32	284	13 %	161 %	21 %	155 %	20 %
ブレヤンジ	255	88	344	110 %	183 %	125 %	167 %	122 %
カムザイオス	214	46	260	65 %	>200%	87 %	>200%	86 %
ゼボジア	105	46	150	(5)%	15 %	—	10 %	(2)%
アベクマ	47	40	87	(14)%	(1)%	(8)%	(7)%	(11)%
ソーティクツ	43	27	70	5 %	116 %	31 %	109 %	29 %
Krazati	47	2	48	58 %	(32)%	51 %	(33)%	51 %
Cobenfy	35	—	35	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
その他の成長製品 ^(a)	201	269	470	15 %	56 %	35 %	55 %	35 %
成長ポートフォリオ合計	4,348	2,248	6,596	15 %	24 %	18 %	23 %	17 %
従来のポートフォリオ								
エリキユース	2,654	1,027	3,680	4 %	18 %	8 %	12 %	6 %
レブラミド	732	106	838	(37)%	(44)%	(38)%	(44)%	(38)%
ポマリスト/Imnovid	584	124	708	(18)%	(49)%	(26)%	(51)%	(27)%
スプリセル	68	52	120	(80)%	(38)%	(72)%	(38)%	(72)%
アブラキサン	33	72	105	(79)%	(7)%	(55)%	(5)%	(54)%
その他の従来製品 ^(b)	100	123	223	5 %	(4)%	(1)%	(5)%	(1)%
従来のポートフォリオ合計	4,171	1,503	5,673	(17)%	(6)%	(14)%	(9)%	(15)%
総売上高	\$ 8,519	\$ 3,750	\$12,269	(3)%	10 %	1 %	8 %	— %

**「非GAAP(一般会計原則)に基づく財務情報の使用」を参照

(a) Augtyro, Onureg, Inrebic, Nulojix, エムプリンティ、およびロイヤリティ収入を含む

(b) その他の成熟ブランドを含む

(c) 全世界(WW)には、米国と米国外が含まれる

(d) 上記および以降の表では四捨五入を行っているため、合計と一致しない場合がある。パーセントの計算には、四捨五入しない金額を使用している。

第2四半期の原価および費用

別途記載がない限り、すべての比較は2024年同期比です。

以下の表は、特定項目の情報を示しています。

単位:100万ドル	2025年6月30日までの3カ月間			2024年6月30日までの3カ月間		
	GAAP	特定項目*	非GAAP	GAAP	特定項目*	非GAAP
売上原価	\$ 3,372	(16)	\$ 3,356	\$ 3,267	(296)	\$ 2,971
売上総利益率 ^(a)	72.5 %		72.6 %	73.2 %		75.6 %
販売費および一般管理費	1,713	(22)	1,691	1,928	(6)	1,922
研究開発費	2,580	(318)	2,263	2,899	(604)	2,295
取得したIPRD	1,508	—	1,508	132	—	132
取得した無形固定資産の償却費	830	(830)	—	2,416	(2,416)	—
その他の(収入)/費用、正味	494	(602)	(108)	273	(277)	(4)
実効税率	25.9 %	(9.8)%	16.1 %	(30.9)%	45.0 %	14.1 %

**「非GAAP(一般会計原則)に基づく財務情報の使用」を参照。詳細については、特定項目の表を参照。

(a) 売上高から売上原価を差し引いたものを売上高で割ったもの。

- 第2四半期の売上総利益率は、主に製品構成の変化により、GAAPベースでは73.2%から72.5%に、非GAAPベースでは75.6%から72.6%に減少しました。
- 第2四半期の販売費及び一般管理費は、主に進行中の戦略的生産性イニシアチブの結果に牽引され、GAAPベースでは11%減、非GAAPベースでは12%減の17億ドルとなりました。
- 第2四半期のGAAPベースの研究開発費は、主にIPRDの減損費用の影響により、11%減の26億ドルとなりました。非GAAPベースの研究開発費は、主に進行中の戦略的生産性イニシアチブの結果に牽引され、1%減の23億ドルとなりました。
- 第2四半期のGAAPベースおよび非GAAPベースの取得したIPRD費は、2025年6月のBioNTech社との戦略的パートナーシップ契約の締結に牽引され、1億3,200万ドルから15億ドルに増加しました。
- 第2四半期の取得した無形固定資産の償却費は、主にレブラミドに関連した償却費の減少により、GAAPベースで66%減の8億3,000万ドルとなりました。
- 2025年の実効税率は、GAAPベースで25.9%、非GAAPベースで16.1%でした。2024年のGAAPベースの実効税率は、法人税引当金の取り崩しによって影響を受けました。
- 第2四半期のブリストル マイヤーズ スクイブに帰属するGAAPベースの純利益は、前年同期の17億ドル(1株当たり0.83ドル)に対し、13億ドル(同0.64ドル)となりました。第2四半期のブリストル マイヤーズ スクイブに帰属する非GAAPベースの純利益は、前年同期の42億ドル(1株当たり2.07ドル)に対し、30億ドル(同1.46ドル)でした。GAAPベースおよび非GAAPベースの1株当たり利益には、取得したIPRDの影響が含まれます。

第2四半期の製品とパイプラインの最新情報

項目は日付順に並んでおり、第1四半期および最新の情報が含まれています。

アセット	発表日	マイルストーン
Sotyktu [®] (deucravacitinib)	7月21日	<p>米国食品医薬品局(FDA)は、Sotyktuを活動性乾癬性関節炎(PsA)の成人患者の治療薬として評価する第III相POETYK PsA-1臨床試験およびPOETYK PsA-2臨床試験の良好な結果に基づき、Sotyktuの医薬品承認事項変更申請(sNDA)を受理しました。FDAは、処方薬ユーザーフィー法(PDUFA)に基づく審査終了の目標期日を2026年3月6日に設定しました。</p> <p>さらに、中国の国家医薬品监督管理局(NMPA)の医薬品評価センター(CDE)と日本の厚生労働省(MHLW)も、同じ適応に関してSotyktuの一部変更承認申請(sNDA)を受理しました。欧州医薬品審査庁(EMA)は、Sotyktuの適応を拡大してこの病気を適応症に含めることを目的としたタイプII一部</p>

		変更承認申請を受理しました。
Reblozyl® (luspatercept)	7月18日	赤血球 (RBC) 輸血を必要とする貧血を伴う骨髄線維症患者を対象に Reblozyl とヤヌスキナーゼ阻害剤の併用療法を評価する第III相 INDEPENDENCE 試験では、プラセボとの比較において投与開始から最初の24週以内に連続12週間におけるRBC輸血非依存性の主要評価項目を達成しませんでした。Reblozyl の投与を受けた患者では、RBC輸血非依存性に関し、数値的および臨床的に意味のある改善が認められました。 これは、第II相試験で得られた結果とも一致しています。FDAやEMAをはじめ、各国の保健当局と連携し、承認申請について協議していきます。
Eliquis® (apixaban)	7月17日	ブリistol マイヤーズ スクイブとファイザー社の提携両社は、患者向けリソースであるEliquis 360 Supportを通じて、Eliquisを購入するための患者向け直接販売オプションを 発表しました 。このオプションは、保険に入っていない患者、十分な保険を有していない患者、あるいは自費診療の患者を対象に、Eliquisを大幅に少ない自己負担額で提供するものです。
Breyanzi® (lisocabtagene maraleucel) およ び Abecma® (idecabtagene vicleucel)	6月26日	FDAは、CAR T細胞療法のBreyanziおよびAbecmaについて、特定の患者のモニタリング要件を軽減し、各製品が当初承認されて以来、実施されてきたリスク評価・緩和戦略 (REMS) プログラムを取り消すラベル更新を 承認しました 。
Breyanzi	6月16日	再発または難治性辺縁帯リンパ腫の患者を対象にBreyanziを評価する第II相 TRANSCEND FL 試験の辺縁帯リンパ腫コホートの主要解析結果から、5つ目のがんにおいて、高い割合で持続的な反応と一貫した安全性プロファイルを示すことが明らかになりました。
Opdivo® (nivolumab) 皮 下注製剤	5月28日	欧州委員会 (EC) は、新投与経路 (皮下投与)、新剤形、および新しい含量の Opdivo の新規製剤を 承認しました 。Halozyme社の組み換えヒトヒアルロンダーゼ (rHuPH20) を配合した Opdivo SC (nivolumab皮下投与製剤) は、Opdivoの単剤療法、nivolumabとYervoy® (ipilimumab) の静脈内投与による併用療法後の Opdivo 単剤維持療法、および Opdivo と化学療法または cabozantinib との併用療法で、さまざまな成人固形がんの適応症に対する使用が承認されています。
Opdivo	5月16日	欧州委員会 (EC) は、PD-L1発現レベルが1%以上で再発リスクが高い成人患者における切除可能な非小細胞肺癌の治療として、術前補助療法として Opdivo と化学療法を併用し、その後、外科的切除後の補助療法として Opdivo を単剤で使用する周術期療法を 承認しました 。

事業開発

当社は最近、複数の取引を締結し、ポートフォリオとパイプラインを拡充しました。

2025年6月、当社はBioNTech社が多くの固形腫瘍に関して研究中の二重特異性抗体BNT327のグローバル共同開発・共同販売に関して、同社と契約を [締結しました](#)。同契約に基づき、BioNTech社とブリistol マイヤーズ スクイブは、この臨床候補の開発を共同で拡大し、加速させます。

また2025年6月、ブリistol マイヤーズ スクイブの保有するRayzeBio社は、Philogenグループの完全所有子会社であるPhilochem AGが前立腺がんを標的とする臨床段階の治療・診断薬OncoACP3を開発、製造、販売する独占的な世界的権利をRayzeBio社にライセンス付与する正式契約を締結しました。取引は2025年第3四半期に完了する見込みであり、必要な規制当局の認可を受け、その他の慣習的な買収条件を満たすことを条件としています。

2025年7月、当社は、患者の大きなアンメットニーズに対処する自己免疫疾患の新規治療薬の開発を主眼として、Bain Capital社と共同で新規の独立バイオ医薬品企業を設立することを [発表しました](#)。この新企業は、ブリistol マイヤーズ スクイブからライセンス付与される5つの免疫アセットを発売し、Bain Capital社が主導する3億ドルの資金提供を受けます。

財務見通し

ブリストル マイヤーズ スクイブは、成長ポートフォリオが堅調であり、第2四半期の従来のポートフォリオの売上高が予想を超え、為替レートに関連して約2億ドルの好影響が生じたことを反映して、通年の売上高の見通しを約458億～468億ドルの範囲から約465億～475億ドルの範囲に上方修正します。

通年の営業費用の予想は、最近の事業開発取引を推進するために投資を行い、成長ポートフォリオにおいて追加的な投資機会を特定したことを反映して、約165億ドルとなります。ロイヤルティが予想を超え、利子所得が有利に働いたことから、2025年のその他の収入/(費用)を約2億5,000万ドルと予想しています。

非GAAPベースの1株当たり利益は、当四半期にBioNTech社の取得したIPRD費により生じる1株当たり-0.57ドルの悪影響を含め、6.35～6.65ドルの範囲になるものと予想されます。

	非GAAP ^{2,3}	
	4月(前回)	7月(更新) ⁴
総売上高 (為替影響を除く)	~\$45.8 - \$46.8B	~\$46.5 - \$47.5B
売上総利益率(%)	~72%	変更なし
営業費用 ¹	~\$16.2B	~\$16.5B
その他の収入/(費用)	~\$100M	~\$250M
実効税率	~18%	変更なし
希薄化後EPS	\$6.70 - \$7.00	\$6.35 - \$6.65
希薄化後EPSに含まれる BioNTechの取得したIPRD費	—	\$(0.57)

¹ 営業費用は、販売費および一般管理費と研究開発費を指す

² 「非GAAP(一般会計原則)に基づく財務情報の使用」を参照

³ 4月は2025年4月23日現在の為替レートを使用し、7月は2025年7月25日現在の為替レートを使用して計算

⁴ 見通しには2025年第2四半期までの取得したIPRD費が含まれるが、2025年6月30日以降に発生するか、または発生する

2025年の財務見通しには、潜在的な将来の戦略的買収や、売却、特定および算定されていない項目、あるいは将来的に取得する仕掛研究開発費(IPRD)とライセンス収入の影響(通例のクローゼング条件に従い、2025年第3四半期に完了すると予想されるPhilochem社の取引に関連するIPRD費を含む)は含まれていません。第三者の知的財産権の資産買収またはライセンス契約に関連する多額の研究開発費、前払い金、または条件付きマイルストーンペイメントによるその他の収入の影響を算定した範囲において、当社Webサイト(www.bms.com)の「Investors」セクションで、この情報を随時更新しています。非GAAPベースの見通しでは、記載した日付現在の為替レートを前提としています。この財務見通しは、本プレスリリースに記載されている全ての将来予測等に関する記述に当てはまるリスクと不確実性の影響を受けます。

また、非GAAPベースのEPSを含む、将来を予測した非GAAP指標から最も直接的に比較可能なGAAP指標への調整は、そのような調整に必要な指標を予測、算定することがそもそも困難であり、そのような指標と比較可能なGAAP指標を合理的に利用または信頼できないため、提供されません。つまり、不合理な労力を伴わずに、加速償却、減損費、法的その他の和解、株式投資の損益、その他の調整の影響を確実に予測することはできません。さらに、当社は、このような調整が、投資家の混乱を招く可能性のある一定の精度や確度を意味すると考えています。これらの項目は、不確実であり、さまざまな要因に左右され、当社の将来的なGAAPの結果に重大な影響を及ぼす可能性があります。「将来予測に関する記述の注意事項」および「非GAAP(一般会計原則)に基づく財務情報の使用」を参照してください。

ブリistol マイヤーズ スクイブについて

ブリistol マイヤーズ スクイブは、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバルなバイオファーマ製薬企業です。詳細は、[BMS.com](https://www.bms.com)、[LinkedIn](#)、[X](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)および[Instagram](#)をご覧ください。

非GAAP(一般会計原則)に基づく財務情報の使用

当社は、財務結果と見通しについて説明する際に、米国の一般会計原則(GAAP)に従わない財務指標を参照します。非GAAPの財務指標は、経営陣が調整後項目や為替変動の影響を含む財務結果と含まない財務結果の両方を評価したため、本プレスリリースで提供するGAAPに従って算出した財務指標の補足情報として提供するものであり、また、ここで提示する非GAAPの財務指標は、基準となる業績を示し、経営陣、アナリスト、投資家による基本的な財務業績と傾向の総合的な理解を補足、促進し、現在、過去、未来の比較を容易にするものと考えています。また、非GAAPの売上総利益(売上高に占める割合として特定項目を除いた売上総利益)、非GAAPの営業利益(売上高に占める割合として販売費および一般管理費と研究開発費を引き、特定項目を除いた売上総利益)、非GAAPの営業費用(特定項目を除いた販売費および一般管理費と研究開発費)、非GAAPの販売費および一般管理費(特定項目を除いた販売費および一般管理費)、非GAAPの研究開発費(特定項目を除いた研究開発費)は、投資家にとって関連性が高いため有用です。なぜならこれらのデータでは、投資家が、当社経営陣が用いたのと同じ方法で業績を捉えることができ、投資家、アナリスト、同業者が当社の業績を業界他社や前年の結果と比較しやすくなるからです。

本業績リリースおよび添付の表では、特定の売上高と費用、および為替変動の影響を除外した(Ex-Fx)非GAAPの指標も示しています。前期の平均為替レートをを用いて当期の現地通貨による財務結果を換算し、調整した金額を当期の結果と比較することで、変動の影響を含めています。為替変動の影響を除外した(Ex-Fx)財務指標は、GAAPの業績から為替変動の影響を排除したものであるため、GAAPに従った会計報告ではありません。

非GAAPの利益や関連する1株当たり利益情報などの非GAAPの財務指標は、量と質の両面を検討した後で一定のコスト、経費、損益、その他個別に評価された特定項目を除外するために調整され、一般的な特徴として、変動が大きい、予測が難しい、特殊性質を持つ、特定期間の結果に重要である、または過去や将来的な業績を示さない、といった要素を1つ以上備えています。これらの項目は、非GAAPの利益および関連する1株当たり利益情報から除外されます。なぜなら当社は、これらの項目が当社の通常の事業活動に関連しておらず、基本的な業績を反映していないと考えるからです。現在の売上高の大部分を生み出し、無形固定資産が十分に償却されるまで繰り返される製品の権利を含む取得した無形固定資産の償却、在庫の購入価格の調整の巻き戻し、買収・統合費用、再編成費用、有形・無形固定資産の加速償却および減損、売却損益、買収に関連した株式報酬による株式報酬、年金、法律またはその他契約に基づく和解費用、株式投資および不確定価額受領権の公正価値の調整(投資事業有限責任組合方式の投資に帰属する公正価値の調整を含む)、2019年の株式交換においてセルジーン社から取得した負債の公正価値の調整の償却などは、過去に同様の費用または利益が認識されており、今後また起こると考えられます。また、これらの項目に起因する繰延および当期法人税も、全体的な税金費用、控除可能性、管轄区域の税率など、個別の影響を考慮し、調整されています。セルジーン社買収に関連した法人税引当金の取り崩しに伴う影響など、その他のいくつかの重要な税項目も除外されています。

非GAAPの財務指標は、GAAPに従って算出されるものではないため、本情報は、GAAPに従って作成されたプレスリリースで提供される関連の財務指標に優先するものと見なしてはならず、また、それらの財務指標と分離して、あるいはこれに代わるものとして検討されることを意図したものではありません。また、手法や調整する項目が異なる可能性があるため、同様の見出しを付けて他社から発表される方法と同等または比較可能なものでもありません。投資家は、当社の財務諸表や当局に提出済みの報告書を総合的にレビューし、個別の財務指標のみを信頼しないようにしてください。

非GAAP財務指標から最も比較可能なGAAP指標への調整は、添付の財務諸表に記載されており、当社Webサイト(www.bms.com)からも入手できます。添付の財務諸表内の特定の行および列は、四捨五入しているため、合計しても100にならない場合があります。割合や1株当たり利益の金額は、基本的な金額から計算しています。

また、非GAAPベースのEPSを含む、将来を予測した非GAAP指標から最も直接的に比較可能なGAAP指標への調整は、そのような調整に必要な指標を予測、算定することがそもそも困難であり、そのような指標と比較可能なGAAP指標を合理的に利用または信頼できないため、提供されません。つまり、不合理な労力を伴わずに、加速償却、減損費、法的その他の和解、株式投資の損益、その他の調整の影響を確実に予測することはできません。さらに、当社は、このような調整が、投資家の混乱を招く可能性のある一定の精度や確度を意味すると考えています。これらの項目は、不確実であり、さまざまな要因に左右され、当社の将来的なGAAPの結果に重大な影響を及ぼす可能性があります。

将来予測に関する記述の注意事項

本業績リリースおよび関連の添付文書(ならびに本リリースおよび添付文書に含まれる情報に関する口頭の説明)は、2025年の財務見通し、事業開発戦略や資本配分戦略、予想されるパイプラインの進展、将来的な市場での位置付けに関する期待事項、提携その他の事業開発活動から得られる見込みのメリットについて、1933年証券法第27A条(その改正を含む)および1934年証券取引法第21E条(その改正を含む)の趣旨の範疇に含まれる一定の「将来予測」に関する記述を含んでいます。当該記述は、「推定」、「可能」、「予想」、「期待」、「予測」、「目標」、「可能性」、「指針」、「提案」、「予定」、「計画」、「見込み」、「意志」および同様の意味および表現の単語または用語を使い、将来の営業または財務業績に関連し表記しているという事実により識別することができますが、必ずしもすべての将来予測等に関する記述にこれらの用語が含まれているとは限りません。過去の事実にあたらぬすべての記述は、将来予測に関する記述であるか、またはそのように見なされます。将来予測に関するいかなる記述も保証され

るものではなく、当社が財務見通しや長期目標を達成する、今後の臨床試験が今回のリリースに記載するデータを裏付ける、製品候補が臨床面・製造面の必要な規制当局の承認を受ける、パイプライン製品が商業的に確実に成功する、臨床面・製造面の必要な規制当局の承認を現在予測されている期限内に申請または取得する、あるいは契約上のマイルストーンが達成されるという保証はできません。

将来予測に関する記述は、今後の財務業績、目標、計画、および目的に関する現在の予想や見積もりに基づくものであり、今後数年間にそれらの内容の遅延、転換または変更を来す内的・外的要因を含め、予測することが難しく、当社がコントロールできる範囲を超え、今後の財務業績、目標、計画、目的が記述で明示または黙示された内容と大きく異なる結果となる可能性がある固有のリスク、仮定、不確実性を伴います。このようなリスクや不確実性には、特に、市場アクセス、医薬品の価格統制、割引による価格圧力の高まり、薬剤の使用を管理し、費用を抑制するための民間および政府の保険支払者による市場措置、新関税・貿易制限・輸出規制の実施に関連する政府措置、特定製品の特許権を保持する能力、価格が低下し、払い戻し率が低下し、保険支払者が払い戻す対象が減少するような規制の変更、340B薬価設定プログラムに基づく変更、製品候補に対する規制当局の承認を取得および維持する能力、製品の投入および商品化における困難・遅延、業界の競合の激化、製品の製造、流通、販売上の問題、遅延、および混乱、戦略的買収やライセンス契約などの有益な取引を特定する能力、協力・買収・売却・提携などのポートフォリオ活動を完了できないこと、または完了が遅延すること、またそのような取引や活動から期待される利益を達成できないこと、訴訟および/または規制上の措置や捜査の対象となるリスク、米国内外の医療制度改革と法令・規制措置の影響、低価格のジェネリック製品の市場浸透率の向上、当社のサプライヤー、ベンダー、外部委託パートナー、提携パートナー、その他の第三者による契約・規則・その他の義務の不履行、製品の偽造品や無登録品あるいは窃盗品による影響、売上高の減少につながる製品ラベル変更その他の措置、当社製品や同じクラスのその他製品の安全性や有効性に関する懸念、当社の情報システムや製品に対するサイバー攻撃および企業秘密その他の機密データの不正な開示のリスク、財務・戦略・営業に関わる計画を実施する能力、主要な人材を獲得・維持する能力、多額の債務の影響、国際経済の政情不安・金融不安およびソブリン・リスク、金利や為替レートの変動、信用リスクと外国為替リスクの管理、ソーシャルメディアプラットフォームの使用に関連したリスク、新規または改定の会計基準の発行、感染症の大流行に関連するリスクが含まれます。

本業績リリースの将来予測等に関する記述は、当社の事業と市場に影響を与える多くのリスクと不確定要素、特に当社の2024年12月31日に終了した事業年度通期報告書(Form 10-K)、その後の四半期報告書(Form 10-Q)および当期報告書(Form 8-K)による更新、および証券取引委員会に提出したその他の書類に注意事項およびリスク要因として記されているリスクと不確定要素と共に評価されるべきです。本文書に記載された将来予測等に関する記述は、本文書の発表日時点での予測であり、該当する法律で特段の定めのない限り、当社は、新たな知見、今後の出来事、状況の変化等によるか否かを問わず、一切の将来予測等に関する記述について、公に更新または修正する義務を負うものではありません。